

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 13 26 33	看取りの経験が、スタッフ自身の価値観や死生観を見つめる貴重な機会となり、今後のケアの質を高められるよう、看取り後カンファレンスで話し合う視点をさらに深める必要がある。	有意義な看取りケアの振り返りや話し合いにより、不安や疑問の解決や気づきを得ることができる。	①看取り後カンファレンスの目的・ルールを再確認する。 ②看取り後カンファレンスの課題について、話し合う。 ・現在使用している看取り後振り返りシートについて意見交換し、追加変更する ・看取りケアにおいて『大切にしていること』をチームで話し合い、振り返りの視点に加える ・個々の問題やかかわりだけでなく、チームとしてどうだったかを振り返りの視点に加える ③②を踏まえ、看取り後カンファレンスの流れや話し合いの視点を共有し、今後のカンファレンスに臨む ④カンファレンス後は、自由な話し合いを促進する進行ができたか、カンファレンスの内容についても評価する	12か月
2	30 31 33 37	暮らしの中で繰り返し語られた『人生の最終段階における心づもり』について、スタッフ・ご家族らと共有しているが、医療関係者らへの情報提供・共有が十分にできていない。	本人を取り巻くすべての関係者が、本人の意向を大切にした支援について話し合いながら、看取りを支援できる。	①具体的な希望や願いが語れるよう、その方の能力に応じた話し合いの工夫を行う。 ・絵本や写真、イラストや文字を活用するなど ②『人生の木』などのツールをアレンジし、これまでの語りをわかりやすくまとめる。 ③②を用いて、ご家族も含めて、意向の確認・今後の支援について話し合う。 ④②③を医療関係者へ情報提供し、今後の支援のあり方を話し合う。①～④を繰り返しながら支援する。	12か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。